

特別支援学級 作業学習指導案

学級 総合学級 1, 2 組 (男子 5 名)
 場所 総合学級 2 組 (3 年校舎 1 階)
 授業者 教諭 新町 義樹
 教諭 中熊 千春

- 1 単元 園芸
 2 題材 ペットボトルを利用した野菜の栽培
 3 本時の実際 (3 / 4)

(1) 目標

- ① 作業の際に使用する道具を正しく使用することができる。
 ② 細かい作業を通して、集中して取り組むことができる。

(2) 展開

過程	時	主な学習活動	指導上の留意点	
			生徒 B, D	生徒 A, C, E
導入	10	1 本時の目標と授業の流れを確認する。 2 前回の学習内容を振り返る。 3 ペットボトル栽培のペットボトルの加工の仕方を確認する。	○ 電子黒板を使用し、1時間の学習の見通しをもたせることで学習意欲の向上を図る。 ○ 電子黒板を使用して、作業の手順を確認することで見通しをもたせる。 ○ 使用する道具の取扱上の注意についても確認することで安全への意識を高める。	○ 電子黒板を使用し、1時間の学習の見通しをもたせることで学習意欲の向上を図る。 ○ 電子黒板を使用して、作業の手順を確認することで見通しをもたせる。 ○ 使用する道具の取扱上の注意についても確認することで安全への意識を高める。
展開	30	4 必要な道具を準備する。 ・ ペットボトル、ビニールテープ、粗砂、小砂利、宝肥、キッチンペーパー、種 5 作業を開始する。 ① キッチンペーパーを適当な長さに切る。 ② 用土ボトルの口に給水紙をいれ、小砂利を広がるように入れる。 ③ 粗砂と宝肥(糞土)を半々に入れかき混ぜる。 ④ ③の用土を給水紙が均一に散らばるように詰めて行く。 ⑤ 種を蒔く。 6 後片付けをする	○ ペットボトルは、切断しやすいように丸形の物を準備する。 ○ ペットボトルの切断から開始する。 ○ 水が浸透しやすくするために10等分させる。 ○ 小砂利が、滑り落ちないように少し大きめの小石を敷き詰めてから詰めていくようにさせる。 ○ 自分の蒔きたい種を準備し、選ばせる。 ○ 後片付けまでが作業であることを意識付けさせる。	○ ペットボトルの切断は、ケガを避けるために、あらかじめ済ませておく。 ○ キッチンペーパーの切断から開始する。 ○ 分割数を少なくして、分割させる。 ○ バケツの中にあらかじめ粗砂と宝肥を準備し、かき混ぜさせる。 ○ 自分の蒔きたい種を準備し、選ばせる。 ○ 後片付けまでが作業であることを意識付けさせる。
終末	10	7 本時の授業の流れを振り返る。	○ 振り返ることで、今後の作業をより確実に行えるようにさせる。	○ 振り返ることで、今後の作業をより確実に行えるようにさせる。

(3) 評価

- ① 作業の際に使用する道具を正しく使用することができたか。
 ② 細かい作業を通して、集中して取り組むことができたか。